

人・もの・夢に出会える創造マガジン

uchi cochi うちのこづち



CONTENTS

- 21世紀アングル／パワー・オブ・メッセージ
ジャーナリスト 財部誠—— 2.3
●プラザ事業紹介
「滋賀県健康福祉産業化事業成果報告会」—— 4
●滋賀県元気企業紹介—— 5
●オンラインをめざせ！レポート—— 6.7
●トピックス—— 8.9
●skki企業優良製品紹介／スマイル—— 10
●新着ビデオ・本紹介—— 11
●skki登録・わが社のホームページ自慢—— 12

2004
Vol. 32

発行／(財)滋賀県産業支援プラザ

uchiuchiうちのこづち 21世紀アングル・パワーオブメッセージ Power of Message



●プロフィール／1956年東京都生まれ。慶應義塾大学法学部卒業後、野村証券に入社。同社退社後、3年間の出版社勤務を経てフリーランスジャーナリストに。金融、経済誌に多く寄稿。テレビ朝日系の情報番組「サンデープロジェクト」「やじうまプラス」等、TVやラジオでも活躍中。また、経済政策シンクタンク「ハーベイロード・ジャパン」を主宰し「財政均衡法」など各種の政策提言を行っている。

滋賀県で商売できなければ、永遠にできないと思っていいのではないでしょか。今、滋賀のビジネスは百年、二百年に一度のビッグチャンスなのです。

ジャーナリスト●財部誠一

産業支援プラザ協力番組のコメントーターとして出演し、滋賀県で今、頑張っている企業に対してコメントを頂いたジャーナリストの財部誠一さん。TVやラジオで経済論や政策提言をするどい切り口で発しているのと同様、滋賀の経済の動き、ビジネスについて率直に語って頂きました。

三方よしは大切にしなければならない滋賀県のDNAです。

滋賀県の様々な企業を知ったのはびわ湖放送で、滋賀県の元気企業紹介番組でした。私はこの番組でコメントを述べさせて頂いているのですが、そこで滋賀県の企業に対して大変印象に残ったことが三つありました。

一つは、「近江商人」は全国的に有名ですが、現代においては、もうとっくに終わった話だろうと思っていたところが、意外やDNAはあるんですね。滋賀県の経営者の言葉の中に、基本的に「世のため人のため」という社会貢献の言葉が随分出てくるんです。社会貢献、企業理念というと泥臭い感じがしますが、実は、そういう近江商人の「三方よし」の企業理念こそが会社を支えていく最大の力なんですね。アメリカでもヨーロッパでもそうなんですが、50年、100年と歴史を積み重ね、どの時代でも業界のトップブランドを走り続けている会社は、どこも明確な企業理念を持っていています。英語ではミッションステートメントと言いますが、その中身はみんな世のため人のためなんですよ。

「社長の元気もらっチャオ
総集編スペシャル」DVD

3月28日(日) PM10:00から(びわ湖放送)産業支援プラザ提供番組「おうみ経済記者クラブ総集編」において財部誠一氏が出演します。尚、びわ湖放送で昨年放送された産業支援プラザ提供番組「社長の元気もらっチャオ」総集編スペシャル(財部誠一氏出演)がDVDに編集され貸し出ししています。お問合せは産業支援プラザまで。



こういうビジネスの本当の原点を、滋賀の若い人も含め多くの経営者が持っていることに驚きました。これは滋賀県の大事にしないといけないDNAだと思いました。

**滋賀県の経営者には
世界を相手にするという
オープンマインドの資質があると思います。**

二つ目は、近江商人と言ってしまえばそれまでかも知れませんが、滋賀県の経営者に共通するのは非常にオープンマインドだということです。どこにでも売りに行きますよ、何でも開発しますよと、あるいは外国に行くお金がないから、外国人の技術者を雇う。このように、ビジネスの商圏に対する感覚の広さ、これは、現在利益の良い大企業のビジネスのあり方と同じです。例えば、トヨタやキヤノンは日本で作った商品をアメリカに売るのではなくて、アメリカで売る商品はアメリカで作る、ヨーロッパで売る商品はヨーロッパで作る、と言うように、ビジネスモデルを劇的に変えた会社ばかりなんです。日本にいて親会社に納める、滋賀県にいて滋賀県の親会社に納める、こんな小さな世界にいるから、持っている技術が宝の持ち腐れになってしまいます。今、中堅企業で問われている一番の課題は何かと言うと、この技術を持って、世界のマーケットに出かけていくという革命的な意識転換ができるか、同じ技術で同じ製品を作っているだけでも、劇的に業績が回復することはありうるわけです。ただ、注意しなければならないことは、単なるジャストアイデアの面白さだけでは長続きしません。そこに、圧倒的な技術力を持っている会社がマーケットの発想をする。そこに良い商品が生まれて結果が出るんだと思います。

是非とも、世界を相手にして欲しいですね。滋賀県の経営者はこうしたオープンマインドの資質を持ち合わせていると思います。

**2030年まで人口が増えていく滋賀県、
これは驚くべき話で、
すごい財産なんです。**

三つ目は、全国的に見た時に、デフレ不況だという表現

はあまりにも雑ばくで間違った表現なんです。日本はそんなに景気は悪くありません。それはGDP(国内総生産)がほとんど横這いであるということから察することができます。15歳から65歳までの生産年齢人口は減っていますし、公共投資の数字も減っています。ということは、GDPが減って当然なんです。それが横這いということは景気が相当いいのではないか、と言う見方をしないといけないです。

今もっとも景気が良いのは東京です。バブルの時よりもさまじい消費で、建築ラッシュです。東京の景気を良くしているのは何かというと、人口が1997年以降増加に転じたというのが隆盛の一番の原因だと見ています。東京のど真ん中、千代田区、港区、中央区の人がどんどん戻って来ているのです。では、東京以外で人口が増え続けているところは何処にあるかというと、滋賀県なんですよ。なんと滋賀県の場合は2030年まで人口が増えていくと予想されています。これは驚くべき話で、すごい財産なんです。考えてみてください。経済的な視点では、日本は少子高齢化で人が減って殺伐たる状況になっていくんですよ。その時に何が起こるかというと、人が増えているところが求心力を持って、落ち込んでいく地域からどんどん人を吸引していくという、こういう現象が間違なく起こります。日本中が同じように人が減っていく、そんなバカなことはありません。結果として、少子高齢化では、伸びる地域と消えてしまう地域が出てくるんです。滋賀県の皆さんは気がついていないかも知れませんが、滋賀県でも東京と同様、さらに人が滋賀県に集まって来るという現象がかならず起ります。そうした都市と都市の再編成、自由競争の中で、滋賀県は必ずアドバンテージを持続けます。人口増加というこの好条件をいかに良いエネルギーとして活かすかを考え、滋賀でのビジネスに打って出で欲しいなと思います。しかも滋賀県は、大学が移って来ていて、10歳代や20歳代の若い人たちが流入しています。滋賀県が日本列島の中で劇的にプレゼンスを上げ、滋賀という地域が日本の国内でものすごく大きな勢力として名乗りを上げていくことができるということです。100年、200年に一度のチャンスが来ているんじゃないかなと思います。

この三つを重ね合わせていくと今、滋賀県で商売できなければ他所でも永遠にできないと思っていいのではないでしょうか。滋賀県は本当にビッグチャンスなのです。

企業のやる気を応援します！
プラザ事業紹介

健康福祉分野での事業化をお考えの方は必見！
滋賀県 健康福祉産業化事業
成果報告会を開催します！

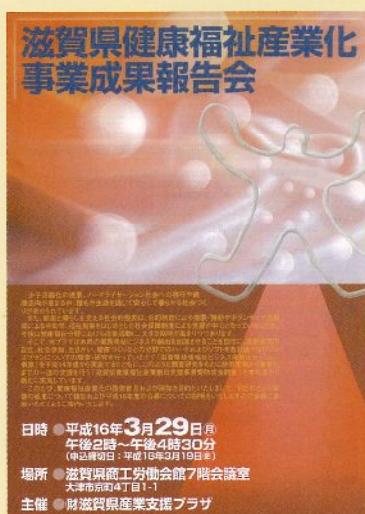
平成16年度滋賀県健康福祉ビジネス産業化セッション事業および滋賀県健康福祉産業創出支援事業費助成金制度の公募の説明を行います！

- 日時／平成16年3月29日[月] 14:00～16:30
- 会場／滋賀県庁商工労働会館7階会議室
大津市京町4丁目1-1 (JR大津駅より徒歩5分)
- 参加費／無料

誰もが生涯を通じて安心して暮らせる社会づくりが求められている中、健康と暮らしを支える社会的役割は、公的制度による措置・援助やボランティア活動等による共助等、福祉施策をはじめとした社会保障制度による支援が中心となっていました。しかし、今後は健康福祉分野における産業活動に、大きな期待が高まりつつあります。

そこで、当産業支援プラザでは健康福祉ビジネスの創出を加速させることを目的に、高齢者等の自立、社会参加、生きがい、健康づくりなどの分野におけるハードおよびソフトを含む様々なビジネスプランについての調査・研究を行う「滋賀県健康福祉ビジネス産業化セッション事業」を平成14年度から実施するとともに、このような調査研究をもとに技術開発から事業化までの一連の支援を行う「滋賀県健康福祉産業創出支援事業費助成金制度」を本年度から新たに実施しています。

このたび、事業の成果報告と平成16年度の公募についての説明を右記の内容で開催いたしますので、ぜひご参加下さい。



●内 容

[基調講演] 14:00～15:00

「筑波大学発VBによる健康サービス産業の創造」

筑波大学体育科学系講師

(株)つくばエルネスリサーチ

代表取締役社長 久野 譲也氏

茨城県大洋村での研究成果を基に、ベンチャー企業設立までに至る経緯とビジネスモデルを紹介いただきます。

久野譲也氏／プロフィール

筑波大学体育専門学群卒業、筑波大学大学院修士課程体育研究科修了、同博士課程医学研究科修了、現在筑波大学体育科学系講師、医学博士。1995年筑波大学院体育科学系先端学際領域センター(TARA)で、茨城県大洋村の高齢者に筋力トレーニングプログラムを提供し健康づくりを進めるプロジェクトを展開。2001年11月茨城県ヤングベンチャービジネスコンペ最優秀賞受賞。2002年7月大学発ベンチャー「(株)つくばエルネスリサーチ」を設立し、代表取締役社長に就任。多数の自治体からコンサルティングの依頼が相次いでいる。2003年6月産学官連携功労者表彰 科学技術政策担当大臣賞受賞。

[調査・研究成果報告] 15:00～16:00

1. 平成15年度滋賀県健康福祉ビジネス産業化セッション事業調査・研究成果報告

- ①介護者の膝当て付きズボン利用による負担軽減調査
滋賀医科大学予防医学講座
文部科学教官助手／辻村 裕次 氏

2. 平成14年度滋賀県健康福祉ビジネス産業化セッション事業調査・研究成果報告

- ①握力トレーニングが可能な家庭用握力計の調査・研究
(株)暁電機製作所 代表取締役会長／西川 勝男 氏
- ②中高年者における四肢筋肉量のデータベース作成
立命館大学理工学部 教授／伊坂 忠夫 氏

[公募事業説明] 16:00～16:30

1. 平成16年度滋賀県健康福祉ビジネス産業化セッション事業の公募説明

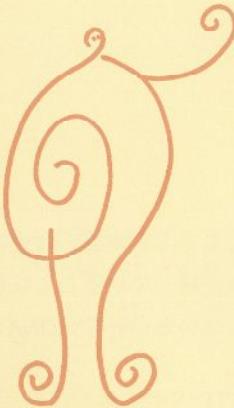
2. 平成16年度滋賀県健康福祉産業創出支援事業費助成金制度の公募説明

●申し込み・お問い合わせ先

財団法人 滋賀県産業支援プラザ 新事業支援課

TEL: 077-525-7573 FAX: 077-525-1931

e-mail: shin@otu.shigaplaza.or.jp



うちでのこづち 連載企画

滋賀県元気企業紹介

事業可能性評価委員会のランキング評価の審査を受け、事業可能性が高い「Aランク評価」を受けた元気企業3社をご紹介します。

●詳しい内容をプラザホームページで紹介しています。
URL/<http://www.shigaplaza.or.jp/uchide/main.htm>

田口勲さん
八幡電工株式会社
相談役



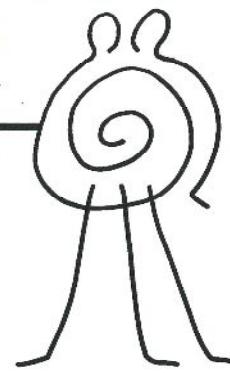
技術を生かして新たな挑戦！
環境先進県の企業だからこそ取り組み。

●本社／近江八幡市牧町2165-2
●TEL.0748-33-8366
●業務内容／セラミック製品の開発・製造

創業1973年。松下電器産業(株)の電気溶接機の製造と、その副資材としてスタッド溶接に欠かせないセラミックリングをおもに製造。バブル崩壊後、国内需要が減ったことをきっかけに、自社ブランドの製品開発を推進。セラミック製品の開発・製造の技術を生かして新しい商品「循環式吸着殺菌濾過装置」を開発に取り組む。昨年の4月、草津市の県立テクノファクトリーに研究所を設置。薬品を使わずに電気で殺菌する装置を開発。温泉の泉質を変えることなく、



循環式吸着殺菌濾過装置



田中喜久次さん
田中建材株式会社
代表取締役



解体廃材のリサイクルを通して
環境問題に取り組んでいきたい。

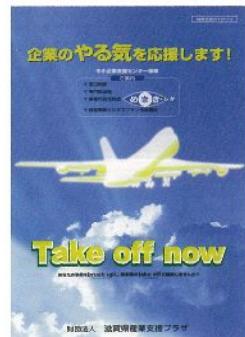
●本社／高島郡今津町今津1677-14
●TEL.0740-22-0217
●業務内容／建設：土木（特定）、建築（特定）、鋼装、
解体、建機リース 環境：産業廃棄物収集運搬、
リサイクル、再生骨材製造販売、绿化資材製造販売
●URL/<http://www.tanakakenzai.co.jp/>

1960年創業。家屋の解体で出る木質廃材のリサイクルに取り組んでいる。きっかけは環境問題への関心の高まりから、木の焼却が難しくなってきたこと。そのため木質廃材を破碎選別してチップ化し、パーティクルボードや公園用敷藁に再生利用を進めてきたが、市場が飽和状態であることから、新しい利用法を考える必要に迫られていた。そこで目をつけたのがアスファルト舗装。新たに考案したアスファルトの練り混ぜ法と蓄積したノウハウにより、高い品質を持ちながら施工性、経済性にすぐれた木質加熱アスファルト舗装を開発した。2003年にはグリーン購入大賞優秀賞を受賞。炭の分野でも产学官連携で新たな研究開発に取り組んでいる。



歩道舗装に使える強度を持つ木質アスファルト

事業可能性評価を受けると新規事業計画について、専門家による客観的な評価「めきき」を受けることにより、事業化に向けての有用な情報を得ることができます。



濱田省吾さん
株式会社山王
取締役副社長



ゴムに代わる樹脂「エラストマー」で、
生産効率のアップとコスト削減を実現。

●本社／草津市青地町282番地の4
●TEL.077-566-6161
●業務内容／プラスチック、フッ素樹脂、
各種エラストマー製品の製造、加工
●URL/<http://www.shiga-sanno.com/>

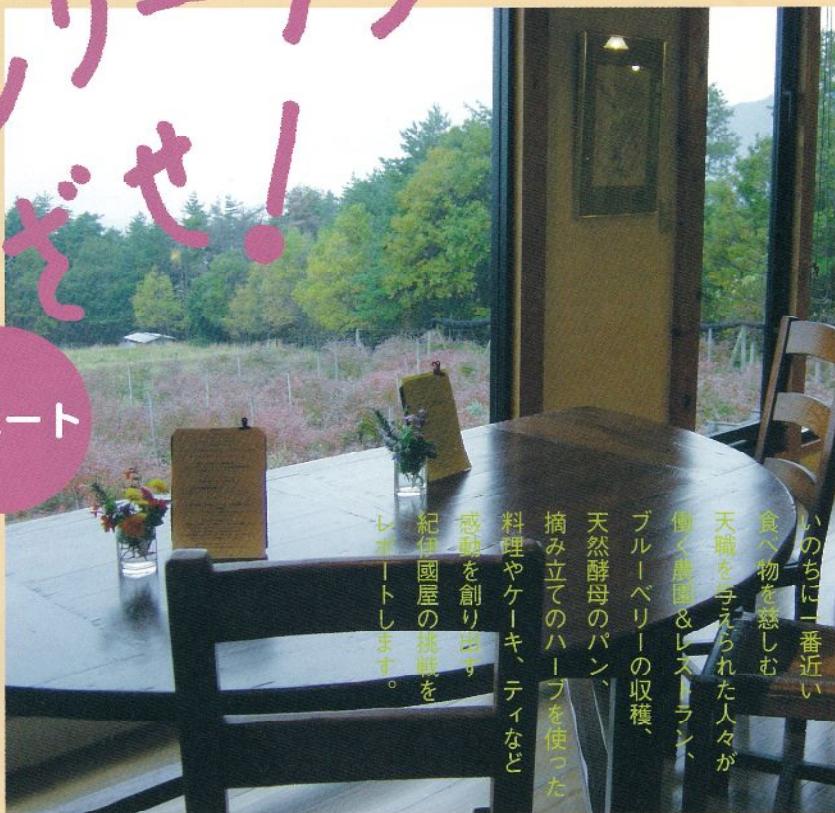
1989年の創業以来、プラスチック精密成形加工で成長。あらゆるプラスチック系樹脂製品の開発、製造、試験まで自社で行う。1996年からは、ゴムとプラスチックの中間的な性質を持つ樹脂「エラストマー」を成形加工して、自動車を始めとする各種産業機械・機器に多用される商品を生産。加工が困難とされてきたエラストマーと金属の接続技術の開発に着手、2002年に某自動車メーカーの部品に適用し、国内及びアメリカ合衆国の試験に合格した。2003年2月に、この技術開発が創造的事業活動の促進(創造法)の認定を受け商品化、量産化を推進。「簡単なものより難しいものの開発」と独自性のある製品の開発をめざしている。



ソーラーで光る安全灯。水も入らずトラックが乗っても割れない

オンリーウンも めざせ!

レポート



Blueberry Fields
紀伊國屋

琵琶湖を望む山の中腹で、
ブルーベリー農園を開拓

1982年秋、実りの黄金の波が琵琶湖に向って波打つかのような田圃に降り立った岩田康子さん。今や新規就農者として成功し、講演で全国各地



江戸時代から続いた京都の実家である木綿問屋「紀伊國屋」の屋号を蘇らせた岩田さん。

オンリーウン

豊かな土がブルーベリーを育み、いのちを育む

2000坪の農園で、毎年420本のブルーベリーが約1トンの実をつけています。丹精込めて育てられたブルーベリーは一粒一粒手で収穫され、レストランやホテル、個人のお客様に出荷されます(1kg／2500円)。8月の最盛期には真夏のじりじりと照りつける太陽のもと、1か月だけのブルーベリー摘み取り農園(1人／1000円)が開園。たくさんの汗と、心地よい疲労感とともにフレッシュブルーベリー250gをお土産を持って帰れます。電話による予約受付は7/1開始、昨年は7/2の午前中には予約が埋まってしまったという盛況ぶり。本当に熟したものを探み取ってもらえるよう、1日30人に制限しています。



④を飛び回るほどのカリスマ的存在です。当時の岩田さんは、離婚し二人の子を抱える身で、琵琶湖を望む丘に立った瞬間、「ここでなら生きていける」と農地を取得。以前、習ったフランス料理で、「ブルーベリーの水煮でなく、生ならどんなに美味しいか」とシェフの一言を思い出し、ブルーベリーを栽培しようと決意。その春出版された一冊の専門書を頼りに、移植ゴテ片手に一人で1500

坪の土地を耕し始めたといいます。自分が楽をするために地球を汚染してはならないと、頑なに無農薬・無除草剤を20年間守り抜いた成果が認められ、数年前にはJAS認定のお墨付を頂きました。1994年、火災による家屋全焼を克服し、有限会社紀伊國屋として再建。1日1組で始めたフレンチレストランを40席に増やし、料理に使うために120種類のハーブガーデンを増設し、週末には100人

の人が訪れる山間の人気レストランに成長。経営は右上がりで、経営で40名のスタッフとともに、田園ライフを実現しています。

“命の故郷”ブルーベリーが繋ぐ、土を守る人々の心

経営の牽引力となったのは手づくり・無添加のブルーベリージャム。全国の高島屋をはじめ県下では琵琶湖ホテルなどの店頭販売で人気を呼んで

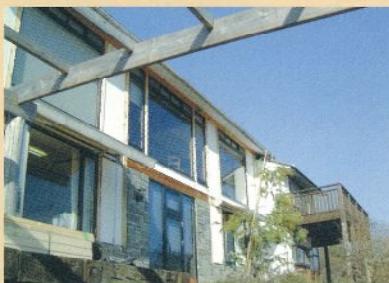
います。1本1000円というジャムは決して安くはありませんが、農業者として自信を持って暮らしていくけるよう思い切った価格設定をしたところ、「1回買ったら美味しかったからまた下さい」と本物志向の消費者の心を掴みリピーターを集めました。工房で毎日、女性スタッフがクルクル手回しで、1本ずつ手詰めでつめるジャムが、作れば売れるヒット商品となったのです。製法にはとことんこだわり、ブルーベリーに水は一滴も加えず、一度瓶詰してからの殺菌はしません。舌にはろりと粒の食感があり、食べた時にブルーベリーそのものの香りが残る、みずみずしさが美味しさの秘密です。

昨年、農園を拡張するため、若いスタッフが中心となり、安曇川に4500

坪のブルーベリー農園と有機野菜の栽培を開始され、3年後の夏にはブルーベリーがたわわに実り、収穫に訪れる人々の輝く笑顔に出会えるこ



パン工房樹樹の屋上から琵琶湖を望む。



レストラン周辺は散歩におすすめな癒し空間。

とでしょう。岩田さん一人の手で始まった食を慈しみ、土と向き合う豊かな農の営みが、次世代を担う若者たちにしっかりと受け継がれています。



全国から集る若いスタッフたち。



比良山系の権現山のふもと、山の木々のそよぎと琵琶湖からのそよ風を受ける開放的なエントランス。

うちのこだわり

ひとさじ毎に感動が増す、本物のスープの味

お皿を運ぶ時、「守山の後藤さんのところで採れた有機ほうれん草を使用しました大変このあるスープです」と紹介します。料理人は農家に足を運び働く姿を見て、野菜本来の味を引き出すためにはどうすればよいか、ヒントを得るのだそう。86歳のおばあさんが来られた時のこと。「こんなに美味しいほうれん草スープを頂いたのは、生まれて初めてです」とおしゃった言葉に、担当の田中秀二さんは至福の時を感じたそうです。ランチの主役は有機栽培の野菜たち。農薬を使わず水を出来る限り与えず命がけでつくった甘いトマト、誠実な汗の結晶のサラダリーフ等、野菜そのもののおいしさを伝えます。



Blueberry Fields 紀伊國屋

- 大津市伊香立上竜華673
- TEL:077-598-2623
- Restaurant
- 3月～12月 9:30～17:00
- ☆ランチ3,500円
- 11:30～と13:30～
の2部制【要予約】
- Garden Cafe／5月～9月【不定期】
- 木曜休／8月は無休
- 交通アクセス／車での来店が便利。
琵琶湖大橋西詰から車で15分。比叡山延暦寺大靈園の看板を目印にすると分かりやすい道順になります。



ナチュラルフルールJ・紀伊國屋 (京都高島屋地下1階)

- 京都市下京区四条通河原町西入真町52番地
- TEL:075-221-8811 ●10時～20時 ●無休
- 山で採れたブルーベリーやハーブ。天然酵母で焼上げる香り高いパン。有機栽培の野菜や穀物を使ったキッシュやスイーツなど心や身体に元気をくれる食べ物を販売。天然酵母パン180円～・チーズケーキ480円など。



紀伊國屋ホームページ

<http://www.bbfkinokuniya.com/>

紀伊國屋ファンのために旬の情報や掲示板が充実。若いスタッフの農や料理、食に対する愛情があふれ、読んでいるだけでも紀伊國屋の空気が伝わってくる力作です。岩田康子さんの著書やブルーベリー豆知識なども紹介。

トピックス TOPICS

県内インキュベーション施設紹介

たくましい経済県づくりのシンボルセンター、平成16年夏オープン！

正式名称が「コラボしが21」に決定しました！

滋賀県などが「たくましい経済県づくりのシンボルセンター」をコンセプトに大津市打出浜に整備を進めている商工業・労働福祉分野の振興拠点施設「滋賀21会館」(仮称)の正式名称が「コラボしが21(コラボシガニジュウイチ)」に決まりました。

正式名称を公募していたところ、「協働」や「共同作業」を意味する「コラボレーション(collaboration)」を含む表現が多かったことから「コラボ」を取り、この建物を起点に様々なコラボレーションが展開され、滋賀の商工業・労働福祉分野におけるますますの振興とともに、21世紀の滋賀県を力強く牽引する新たな産業が生まれ育っていくことを願って名付けられました。



コラボしが21竣工予想図

コラボしが21のフロア構成

- 9F／大津商工会議所
- 8F／滋賀県信用保証協会
- 7F／滋賀県信用保証協会
- 6F／労働福祉関連団体事務室
(滋賀県労働者福祉協議会、滋賀県勤労者住宅生活協同組合、滋賀県勤労者福祉協会、滋賀県勤労者互助会連合会)
労働福祉セミナー室、労働相談室
- 5F／商工業関連団体事務室
(滋賀経済産業協会、滋賀経済同友会、滋賀県商工会連合会、滋賀県商工会議所連合会、滋賀県中小企業団体中央会、滋賀県火災共済協同組合)

コラム

ただ今、研修中！ インキュベーション・マネージャー紹介



財団法人 滋賀県産業支援プラザ
総務課参与／西岡 孝幸

昨年7月に滋賀県産業支援プラザから財団法人日本立地センターJANBO事務局へBI(ビジネス・インキュベーション)、IM(インキュベーション・マネジャー)の知識を習得するために、研修出向して9か月が過ぎようとしています。

この4月からは滋賀県に戻り、「コラボしが21」のオープンまでに運営システムの構築、入居者募集に取り組んでいきたいと思っています。当インキュベータのミッションは“地域における雇用創出、経済波及効果のある事業を多く創り出し、地域の産業・経済の活性化に資すること”と思っています。そのために、入居企業募集については、事業性の高い企業に入居してもらうためにも、待ちの姿勢ではなく、攻めの営業が必要であると考えています。企業育成支援として滋賀県には、他に立命館大学インキュベーション(地域振興整備公団：今年夏オープン予定)やSOHO30室(草津、米原)などがあります。それそれが滋賀県のインキュベーションシステムの中でどのような役割を担うのか、また、その連携が重要になります。地域の中で効率的なインキュベーションシステムにしたいと思います。滋賀県は近江商人発祥の地として、多くの優秀な経営者を輩出した土地柄、起業家人材は豊富なのではないかと思います。先日、滋賀の若手ベンチャーの旗手と話す機会がありましたが、アイデアやプランニングもさることながら、熱意や粘り強さみたいなものを感じました。IMとしては、このような資質を見出し、更に大きく育てる役割も担っていると思います。創業・起業家の夢の実現をサポートし地域の産業・経済の活性化に資するインキュベーションシステムを創り上げる、これが目標です。

- 4F／インキュベーション施設
(起業準備オフィス10ブース、起業オフィス13室)
賃貸オフィス
(滋賀銀行・びわこ銀行融資相談窓口、時事通信社大津支局、中小企業診断協会滋賀県支部)
- 3F／大会議室、中会議室、IT研修室、ミーティングルーム
- 2F／インフォメーションセンター、滋賀県産業支援プラザ、産学官連携サロン
- 1F／情報資料室、ITサロン、展示ギャラリー、交流サロン、カフェレストラン

整備されてきた県内インキュベーション施設

開業率が低下し廃業率を下回ってしまうなど、中小企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。そのため創業と経営革新に重点をおいた中小企業支援が行われており、県内には新たな事業の立ち上げを支援するためのインキュベーション施設が整備されています。

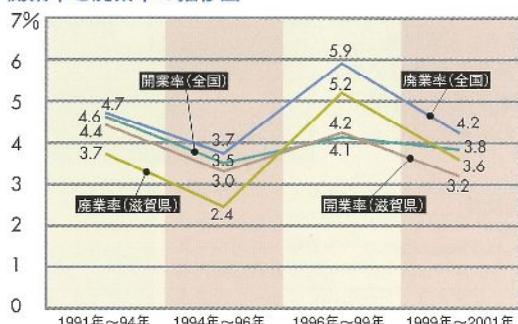
例えば、独創的な技術開発や新製品の研究開発を行う場として、工業技術総合センターや滋賀県立大学にレンタルラボを整備し、次の段階として製品化・事業化するための場として滋賀県立テクノファクトリー（賃貸型工場）を整備しています。

また、小規模な事業所等においてITを中心としたビジネスモデルによる事業をされている個人や小規模の企業（SOHO事業者）の活動拠点として、米原と草津にSOHOビジネスオフィスを設置しています。

今回、「コラボしが21」において、起業準備オフィス

および起業オフィスが整備されることにより、滋賀県に最適なインキュベーションシステムが完成すると思われます。

開業率と廃業率の推移図



注／【開業率】【廃業率】とともに12カ月換算したものです。

資料／総務省「事業所・企業統計調査」

主な県内インキュベーション施設一覧

滋賀県工業技術総合センター企業化支援棟技術開発室

- 場所／栗東市上砥山232
- 規模／6室：1室あたり42m²～51m²
- 費用／月額使用料：71,400円～86,700円
(使用料は1m²当たり月額1,700円です)
- 入居資格対象／滋賀県内において事業を既に行っているか、あるいは開業をしようとする企業等であって、次の各号のいずれかに該当すること。
①創業、新

分野進出または新技術開発を志向し、具体的な研究開発計画を有する者 ②その他、知事が適當と認めた者

- 入居期間／3ヶ月以上で1年更新により、最長3年まで
- 募集／空き室が生じ次第隨時

【問】滋賀県工業技術総合センター管理担当

TEL：077-558-1500

<http://www.shiga-irc.go.jp/guide/kaihatsusitsu.html>

滋賀県立テクノファクトリー（賃貸型工場）

- 場所／草津市野路町字砂池2257-4
- 規模／12棟：事務室スペース38m²、工場スペース162m²
- 費用／月額使用料：204,000円
- 入居資格対象／①新製品の試作または製造に係る技術の開発、もしくは改良を行おうとするかた ②県内において製造業その他の製品の製造と密接に関連を有する事業を行う方、または行おうとする方 ③資本の

額もしくは出資の総額が3億円以下の方、または常時使用する従業員の数が300人以下の方（中小企業または個人等）

- 入居期間／5年以内を限度とする
- 募集／空き棟が生じ次第隨時

【問】滋賀県商工観光労働部新産業振興課技術振興室

TEL：077-528-3794

<http://www.pref.shiga.jp/f/shinsangyo/030715a/index.html>

滋賀県立草津SOHOビジネスオフィス

- 場所／草津市大路1丁目1-1（エルティ932 4F）
- 規模／20室：15m²～27m²
- 費用／月額使用料：25,500円～45,500円

●入居資格対象／①SOHO事業者（自宅や小規模な事業所でITを中心とした事業を行なう個人または法人）として活動する者で、入居時において当該事業を創業した日から5年を経過しないもの ②県がSOHO事業者を支援するため、知事が適當と認める事業を行なうもの

- 入居期間／3年以内を限度とする
- 募集／空き室が生じ次第隨時

【問】滋賀県商工観光労働部商工観光政策課

TEL：077-528-3712

<http://www.sohok.bics-shiga.jp/>

※費用については、平成16年4月改定金額を記載しています。

skki企業

優良製品紹介

skkiに加盟している企業の優れた商品をご紹介します。

●各企業の詳細な情報はskkiに掲載されています。企業名で検索してご覧ください。

小さな店だからこだせる、こだわりの味

旧東海道に面した膳所で京菓子の流れをくむ菓子屋を営んでいます。材料を吟味し、小さい店だからこだせる味にこだわっております。人気銘菓「にほの菊」は黄身あんだけで焼き上げたお菓子です。洋菓子党の方にもおすすめです。



有限会社 龜屋廣房

TEL.077-522-3927

e-mail: hirofusa@ex.biwa.ne.jp

手間隙を惜しまぬ 米作りと酒造りの結晶

雪深い湖北で地の酒を造り続けて14代目になります。地元篤農家のつくるこだわりの酒米「玉栄」……農薬を極力控え、全有機肥料……を原料に醸した酒が「七本槍 特別純米酒」です。米の旨味を存分に生かした辛口で喉越しのよい酒に仕上りました。



富田酒造有限会社

TEL.0749-82-2013

e-mail: sake.7@basil.ocn.ne.jp

森のこえの聞こえる 「蒔絵漆芸品」

京都から工房を移して12年。棗(なつめ)や印籠など精緻な蒔絵を手がけています。疲れた眼を癒すのは、湖や山の緑。裏山で初めて梟(ふくろう)の声を聞いた時は感激しました。そこに棲む小動物たちに想いをよせた遊び心の菓子器です。



植村健蒔絵工房

TEL.077-592-2012

ほっと心がなごむ 人形たち

手作りにこだわった温かみある人形を製作しています。洗練されたデザインがあふれる今日、ほっと心癒されるそんなお人形があっていいのではないかでしょうか?招き猫・お多福・七福神等の縁起物を多数取り扱っております。



株式会社 ふる里民芸万兵

TEL.0748-82-2797

e-mail: webmaster@manpei.co.jp

近江八幡の秘密基地のような場所にある「有限会社アナログエンジン」は、平均年齢24.5才という若いパワーに溢れる企業です。そこの看板娘(!) 松田さんは、ものを創ることに関わっていたくて、転職してきたそうです。

「『発想を形に、想像を立体に』をモットーに人が思い描く想像をカタチにする努力、それが『アナログエンジン』のコンセプトです」と熱く語る神野社長の隣で、その言葉を確認するかのように、静かに頷いて聞いていている松田さんは、今時貴重な

SMILE



お客様によろこんで
いただけたことが何より嬉しい

松田 晃枝さん

有限会社アナログエンジン

●〒523-0041 近江八幡市中小森町305-9

TEL.0748-31-3343 FAX.0748-31-3344

●URL : <http://www.analogengine.jp/>

●e-mail : info@analogengine.jp



株式会社エージー出版より発売された
WEBプロ年鑑2004にアナログエンジンが掲載。

「古きよき時代の女子」といったかんじの人です。

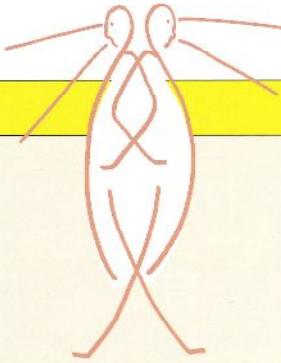
松田さんの仕事は、情報構築デザイン・動線デザイン。簡単にいうと、WEBサイトにアクセスした人には、より使いやすく利用しやすい、そしてサイト運営者にとっては有効なマーケティングの場になる、そういうサイトのデザインをすることだそうです。飛び込んだWEBサイト制作の世界で、帰宅が深夜になることもあるそうですが、それはあまり気にならないそうで、「お客様によろこんでいただけたことが何より嬉しい」と、顔をほころばせ、「お客様といっしょにサイトを育てていき、そのサイトを利用するエンドユーザーの方も一緒に育てていける、そんなサイトをつくってていきたい…」と目を輝かせます。

仕事の話ばかりでくるので、「お嫁さんにしたい女子」っていうテーマで自己PRしてください、というと「得意料理は“肉じゃが”としておいてください。古いですか?」と、目下仕事に夢中の25歳。

●このコーナーでは、skki企業の中から魅力的な仕事をされている方を紹介しています。

新着●ビデオ&本●紹介

プラザ・インフォメーションコーナーでは、経営・販売促進・ISOなどの各種の図書およびビデオソフトを多数取り揃えています。最近購入しました図書およびビデオソフトの一部をご紹介しますので、是非ともご利用下さい。



VIDEO



製造現場のコンプライアンス・マインド
技術者・技能者の「技術者倫理」

日経VIDEO

- ①技術者・技能者の倫理とは何か
- ②技術者・技能者の倫理を実践するには

各巻15分

生産・製造の現場では、技術者のコンプライアンス・マインドの欠如が事故・事件を起こしかねません！ともすれば、それは企業のイメージダウン、自社の倒産につながることも…。現場で働く技術者・技能者・作業者に求められる「技術者倫理」とは一体どのようなものか？「これだけは知っておきたい」技術者倫理、ポイントを抑えて解説！



部下の成果がグングン上がる
実践！セールス・コーチング

PHPビデオセミナー

- ①セールス・コーチングの基本と考え方
- ②実践的セールス・コーチングの進め方

各巻約45分

お客様のニーズが多様化している今、従来のセールス方法ではお客様の満足は得られません。これからの営業マンには「顧客のパートナー」として、お客様と一緒に問題解決を図っていくことが求められています。上司のコーチングによって、自ら考えながら選択肢を見つける部下を育てていく「セールス・コーチング」。その基本と実践アプローチを、ケースドラマ化して紹介します！

BOOK

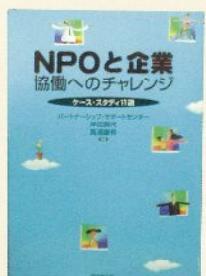
NPOと企業 協働へのチャレンジ

ケース・スタディ11選

パートナーシップ
サポートセンター／編

NPOと企業、「営利」と「非営利」という本来全く性質を異なる2つの組織が、互いに協働していくパートナーシップ。11件の成功したケース・スタディから、両者の協働が生むメリッ

トや重要性を描きます！企業には<社会への貢献の視点>を、NPOには<企業との協働による一回り大きな活動の可能性>を提案する一冊。



カルロス・ゴーン 経営を語る

カルロス・ゴーン &
フィリップ・リエス／著

いまや日本中が認め
る日産のカリスマ経
営者、カルロス・ゴ
ーンが語る「ゴーン
流経営哲学」のすべ
て！「経営」とは“実
践”であって“学問”
ではない。企業とは
物でも数字の総計で
もなく、現場に出かけるところから“改革”が
始まる。21世紀のグローバル社会で国際ビジ
ネスを成功させるためのマネジメントの秘訣、
ぜひご一読ください！



うさみてる
宇佐美照夫さん

滋賀大学産業共同研究センター
文部科学省派遣・産学官連携コーディネーター

滋賀大学は地域貢献型の産学官連携を目標のひとつにしています。企業や公共機関・自治体のみなさまとの連携相談の窓口は彦根の産業共同研究センターにくわえ、昨年4月よりJR大津駅前アル・プラザ5Fに開設した大津サテライトプラザでもおこなっています。まずは「何事も大學は駆け込み寺」と考えて気軽に遠慮なく相談にお越しください。20世紀が「も

SEO 検索エンジン最適化プロジェクト

住 太陽／著

今日インターネット
ユーザーの80%以上
が、目的のサイトに
達するためにYahooな
どの「検索エンジン」
を使っています。検
索エンジンは、いわ
ばインターネット上
のトラフィック整備員！そんな検索エンジンに
ヒットしやすいHPを作り、より多くのビジネ
ス・チャンスを手にしませんか？あなたの会
社のウェブページを、検索エンジンに最適化す
るノウハウを一挙満載！



第6回

今、新技術開発や
ヒューマンネットワークの形成など
産学連携が注目されています。
このコーナーでは大学などの
産学連携に関する情報を
掲載します。

のづくり」(ハード)の時代とすれば、
21世紀はコンテンツなどに代表されるソ
フトの時代といわれています。惰性で既
成品を製造している企業はグローバル競
争では衰弱していくでしょう。独自の付
加価値をもった製品を生み出すことが重
要なポイントです。産学官が各々の役割
分担をはたし一体となって、滋賀県に新
しい風を起こそうではありませんか！

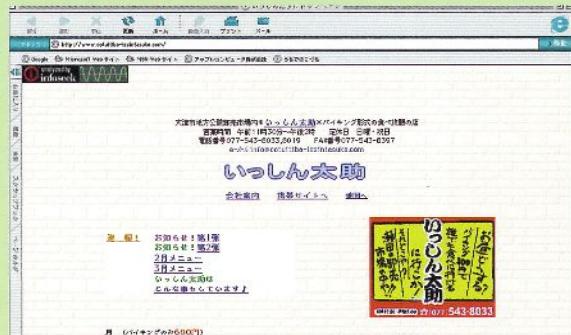
【問】滋賀大学産業共同研究センター
〒522-8522 彦根市馬場1-1 TEL.0749-27-1141 FAX.0749-27-1431
E-mail : jrc@biwako.shiga-u.ac.jp URL : http://www.biwako.shiga-u.ac.jp/jrc/



●総合食品やまと有限会社
●滋賀モリファーム

総合食品やまと有限会社

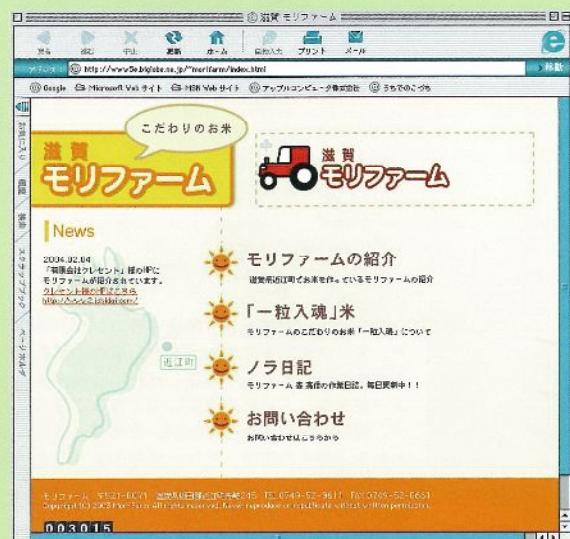
<http://www.ootuitiba-issintasuke.com>



大津市地方公設卸売市場内でバイキング形式の飲食店「いっしん太助」を営業しております。かねてから広告などで宣伝を行ってまいりましたが、なかなか成果があがりませんでした。そこでホームページを活用することでより多くの方に知っていただこうと考えました。ホームページの作成については全く初めてで、試行錯誤を繰り返しながら作っていました。そして、プラザの巡回指導やセミナー参加を経て、少しずつ改良していき今のホームページに至っています。また、クーポン券発行やアクセスしていただいた方へのサービスなどの趣向を凝らし、ホームページを見て店舗に足を運んでいただけるようになることが今後の目標です。

滋賀モリファーム

<http://www5e.biglobe.ne.jp/~morifarm/index.html>



近江町で水稻・麦・黒豆などを210反の農地で栽培しています。減農薬・減化学肥料栽培を中心に、無農薬栽培も視野に入れながら、滋賀県認証「環境こだわり農産物」に積極的に取り組んでいます。

滋賀県でも湖北地方は、びわ湖の水も美しく、伊吹山からの清流もあり、まさしく水の都であることから「近江米」を作る農家の義務として、環境に配慮したお米作りに努めています。その中で、特にこだわった減農薬・減化学肥料栽培にて取れたお米を「一粒入魂」米と名付けて販売し、大変ご好評頂いております。

ホームページでは、安心・安全を第一に取り組むモリファームのこだわりを紹介しております。是非一度ご覧下さい。

詳しい情報は、滋賀県企業情報検索市場skki（すっき）をご覧ください。skkiには、この他にも多数の企業の情報が掲載されています。また、登録企業を募集しています。

[入会金・年会費など無料]



●編集後記●

夏には新たな活動拠点として「コラボしが21」に移転します。地域経済の起爆剤として、また産学官金の連携の要としてますますプラザの役割が重要になってくると思われます。今後も、他の産業支援団体との連携を進め、中小企業の皆様方に役立つ情報提供に努めていきたいと思います。

企業のやる気を応援します！

財団法人滋賀県産業支援プラザ

〒520-0044 滋賀県大津市京町4-1-1(滋賀県商工労働会館内)

TEL.077-525-7573 FAX.077-525-1931

<http://www.shigaplaza.or.jp> info@otu.shigaplaza.or.jp

●公共機関/JR大津駅から徒歩5分

●車/名神インターから約3分

●駐車場/県庁南駐車場[無料]をご利用ください。

